

■ **科学技術賞**

ほりてるお  
**堀照夫** 福井大学 産学官連携本部 客員教授（名誉教授）

染色布帛の各種染色堅ろう度の評価および高堅ろう性染料の開発

繊維への高機能性の付与、環境負荷の低減、高堅ろう度を実現するために世界に先駆けて超臨界二酸化炭素を用いる染色の実用機を開発し、普及させた。この方法で染められる布帛が高堅ろう性を有することを明らかにした。2011年には超臨界流体を用いるポリプロピレン用の染料を開発し、これらが高い堅ろう度を有することを初めて学術論文として発表し、現在試験生産を行っている。

さらに日本学術振興会染色堅ろう度第134委員会の委員長を2012年から務め現在に至る。2013年にはイスタンブールで開催されたISO/TC38国際会議にSC1/WG3のコンビナーとして出席し、同134委員会で研究してきた「窒素酸化物に対する染色堅ろう度試験法に関する研究」について成果発表し、改正を提案した。堀氏はこの提案を2015年にリヨンで開催された同国際会議で改正段階にまで進め、その後、本提案が採択されるなどISO化に大いに貢献した。

（推薦団体：一般社団法人繊維学会）

（所属・肩書は受賞決定当時 敬称略）